



## Q.地震・風水害対策は

## A.災害時の対応訓練などを行っていく

栗田 昌子 議員

**Q** ①地域防災計画と地震災害時初動マニュアルについて、9

月20日の水害発生時、役場は役割分担どおりに機能したか。学んだことは何か。

②情報は同報無線とケーブルテレビで、同時に。

③避難指示や勧告の基準は。

④雨水貯留施設の効果は。

⑤東日本大震災発生時、役所の職員も被災して、避難所運営に参集できなかった事例がある。本町の場合なら、どうなった

⑥組立て式仮設簡易トイレの充実を。

①豊山町地域

**A** ①豊山町地域

防災計画の非常配備等の基準に基づき対応した。今後、図上訓練を行うなど災害時の対応の訓練を行っていく



志水小学校に設置した雨水貯留施設

く。

②同報無線と同じ情報をテロップで伝達した。

③避難勧告等の判断・伝達マニュアルの基準に基づき行っている。

④貯留施設で全体の約64%の雨水が溜まり、洪水抑制効果は十分あったと考えている。

⑤災害の規模によりどうなるか判断できない。業務継続計画策定時に非常参集要員が必要数集まるか、検証する。

⑥必要に応じて増やしていく。

## Q.避難所の弱者や女性への対応は

## A. 配備について検討をする

## Q. ①災害弱者と言われる方々が安心して避難できる場所は。

②女性専用の簡易テントやダンボール製の更衣室などの設置を。

**A** ①総合福祉センターらしいの木を福祉避難所に指定している。

②最近のニュースで、岩倉市ではダンボール会社と協定を結んだという記事があった。本町では、購入するか協定を結ぶかはまだ決めていないが、配備について検討していく。

